

いっしょにあそぼ！！

■日時 平成28年 9月25日(日) AM 10:00~11:30

■会場 草津市立 草津クレアホール 展示ホール

■参加数 親子30組

■参加費 無料

■目的 草津市で家庭的保育の家を行っている保育者が子どもと一緒に遊びながら、触れ合いの場を設けて家庭的保育を利用していない子どもと、その保護者・家族を対象として、保育室の様子や、保育内容を紹介すると共に、地域の子育て支援に資すること。

草津市家庭的保育の家として、初の外部向けイベント！

先生方、一人一人の地道なチラシ配布の効果で

毎日1組ずつ申し込みが入り、当日は30組の親子を迎えて盛大に開催することができました。

大きな木の入場門、動物の装飾に「あ、うさぎさん！」

と子ども達は大喜び。

少し照明がおさえられた展示ホールがまるで本当の

森の様。大きな木をくぐり、親子で家庭的な遊びの森

へようこそ！！



受付でもらったアンパンマンのスタンプラリーを押してもらいながらコーナーをまわり、楽しんでくれました。



家庭的保育の家紹介コーナー

日々の家庭的保育の家の活動の様子や各々の保育室の雰囲気が、伝わるものとなり、特に所在地を示した地図等は、市内の家庭的保育の所在がわかりやすいものとなりました。

参加者の中からは、家庭的保育の「詳しい説明会をしていただきたい。」との声もあがっていました。

手作り&お絵描きコーナー

牛乳パックを白い紙で覆った新幹線のボディーに窓や、ライト等、シールを親子で貼り、仕上げてもらいました。

出来上がった新幹線は横に設けられた線路の上を走らせたりして楽しむ様子がありました。

また、お絵描きコーナーでは、親子で自由に絵を描いたり、設置された赤いポストに、おばあちゃんへの手紙を書いて入れる姿も。

親子で会話を楽しみながら手作りおもちゃを作っていました。

(安田、八太、安田)



イベントコーナー

エプロンシアター等、同じ内容で2回開催。

会場のほとんどの方が参加してくださいました。

エプロンシアターで「いっしょにあそぼ！」の会場案内を含めて「パン屋さんでおかいもの」をしました。

触れ合い遊びでは保護者のあったかいひざに座り、体を揺すってもらいながら、ほのぼのとした触れ合いを楽しんでいました。

パネルシアター「はらぺこあおむし」は大きく作られていたので、見やすく、動きも大きく、特にちょうちょが飛んでいくシーンでは、子ども達は瞳を輝かせ、見つめていました。

ダンス「エビカニクス」では、たくさんの方が、リズムに合わせて体を動かして喜ぶ微笑まし姿があり、2回目のダンスでは、会場のあちこちにダンスの輪、笑顔が広がりました。

(小寺、辻本、原田)



金魚すくいコーナー

ビニールプールに、色とりどりの紙コップお花紙で作った金魚を泳がせて金魚すくいをしてもらいました。

お兄ちゃんが、弟の分をすくってあげたり、手でつかむ赤ちゃんがいたり・・・と、思い思いに楽しむ姿が見られました。

(垂水、垂水)



家庭的保育の家&乳児コーナー

保育室を1軒そのまま移設したコーナーには、各保育室の自慢玩具が集結！！ 1～2歳さん用には、指先遊び(ひも通し、おはし遊び、パズル)なども用意し、小さな部品もあるので、保護者さんの見守りの中で遊んでもらえるよう配慮しました。発達に合わせた安全であたたかな手作り玩具で、じっくり遊ぶ姿が見られました。

また、乳児コーナーにも各保育室から0歳児さん用の玩具を配置しました。ねんね、よちよちコーナーとしたことで、0歳児さんがゆったり安心・安全に遊べるコーナーとなりました。手作り玩具を手にした保護者さんからは、子どもが遊び続ける姿に「この玩具はどこで売ってますか？」と質問を受けたり、「こんなふうにもリサイクルできるんだ」と、驚嘆の声をたくさん頂きました。

また、様々な手作り玩具に囲まれた家庭的保育のあたたかな部屋の雰囲気をおのまま味わって頂くことができましたと思います。

(野邑、西村)



アスレチックコーナー

すべり台、鉄棒、トランポリン、トンネル、綱潜り等の運動器具と、牛乳パックの道、水入り圧縮袋のぷにゅぷにゅの道、ミラー、プチプチ、果物パックのぽこぽこの道の感触遊び。上には外の光でキラキラ、ユラユラカラフル風船と、多くの子ども達がわくわく、ドキドキしながら“はじめて”を体験するコーナーとなりました。

また、アスレチック中央では、手作り牛乳パック馬やフープを用意。喜んで馬にまたがり遊ぶ子どもも。

この日、すべり台、初成功！！の子どもさんがいて、感動的なシーンもありました。子どもさんも保護者さんも大喜びで、何度も何度も繰り返し遊び続けていました。

細やかで、あたたかな見守りの中、たくさんの初めてに出会えるのも家庭的ならでは！と感じて頂けたと思います。

(中島、西田)



おみやげコーナー

どこの家庭にもあるたくさんのタオルを生かし、子ども達にとって肌ざわりの良い感触を味わって頂けたらと、手作り動物を用意しました。ひもを引っ張ると、飛び出してくるタオル動物。それを見て喜ぶ子ども達の表情が本当に可愛く小さな胸にギュッと抱きしめる姿が印象的でした。

お家に帰ったら名前を付けたり、一緒に遊んだり眠ったりして、大切なお友達になって下さることでしょう。

(小寺)



「いっしょにあそぼ！」を開催して

4月に開催のお話を頂き、約半年での準備、開催となりました。

家庭的保育者5名での運営はかなり大変なものがありました。何度も集り、話し合い、作業し、不明な部分は携帯でのライン会議等で詰めながらすすめてきました。

ハードな日々でしたが、顔を合わせると「楽しいな〜♡」

いつの間にか合言葉は「楽しいね！」。でした。

当日もギリギリまで準備をし、初の外部向けイベントとして目標にしていた100名の参加。そして無事故、大成功で終わられ、全員やり遂げた達成感で一杯です。

そして何より、「家庭的保育ってすごい」「入りたいので定員増やしてほしい」「また次も必ず参加したい」等の声と共に帰り際、一人のお子さんが「あ〜楽しかった〜！」と心の底から言ってくれたこと、笑顔で帰る親子の姿に全ての疲れが一気に吹き飛びました。

当日お手伝い下さった大津市の皆様、行政の皆様、いろんな面でサポートして下さいました補助者、家族の協力に心より感謝申し上げます。これからも更に家庭的保育の充実、発展の為、全員で協力してがんばってまいります。ありがとうございました。



(西村)